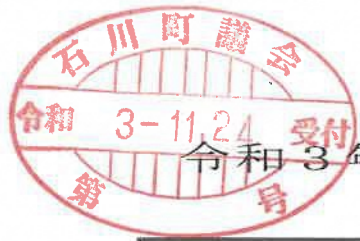


一般質問通告一覧表
(令和3年12月定例会)

通告番号	氏名
通告1番	乾 初美
通告2番	渡辺 実
通告3番	菊池美知男
通告4番	下山田和雄
通告5番	関根 信次
通告6番	根本 重泰
通告7番	小木 芳郎
通告8番	瀬谷 京子
通告9番	瀬谷 寿一



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番

令和3年11月24日 午前9時24分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月24日

質問者 1 番議員 乾 初美

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 高齢者への带状疱疹ワクチン接種について	高齢者の带状疱疹が年々増加傾向にあり、重症化や後遺症が残るリスクも少なくな い。ワクチン接種で予防することができる が、自費であるため負担がある。費用を助成 する自治体もあるが、町の考えを伺う。 (1) 带状疱疹ワクチンの周知や接種推進に対 する町の現状について (2) 50歳以上を対象とした、带状疱疹ワ クチン接種への助成について	町長 保健福祉課長
2. 乳幼児・児童・生徒の 定期予防接種について	日本脳炎と子宮頸がんワクチンにおいて は、積極的勧奨の差し控えが行われた経緯が ある。本町において、日本脳炎ワクチンで は、接種率が低いこと、子宮頸がんワクチン では、来年4月から積極的な接種勧奨の再開 に向け、正しい情報の提供など課題は多いこ とから、町の見解を伺う。 (1) 日本脳炎ワクチンの接種状況における現 状と課題について (2) 日本脳炎ワクチン特例対象者への周知と 接種推進に対する今後の方針について (3) 子宮頸がんワクチンの取り扱いにおける 今後の方針について	教育長 保健福祉課長

<p>3. 本町における、AEDの設置と普及啓発について</p>	<p>心臓突然死の発生件数は1年間で約7.9万人であり、1日に約200人、約7分につき1人が心臓突然死により命を失っていると言われていいる。AEDの使用を始めとした迅速な救命救急が不可欠であるが、本町のAEDは屋内設置であり、夜間や休日使用することが難しいことから、現状と今後の在り方を伺う</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 本町におけるAEDの設置状況について(2) AEDの屋外設置に対する町の考えについて(3) AEDによる応急手当の普及啓発状況について	<p>町長 教育長 所管課長</p>
----------------------------------	---	----------------------------



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番

令和3年11月24日 午前10時54分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月24日

質問者 9 番議員 渡辺 実

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. ヤングケアラーの実態と支援について	<p>18歳未満の学生や児童生徒が、家族の家事や家族の世話、介護などを引き受けていて、勉強と介護等を両立しているヤングケアラーが社会問題とされ、国の調査でも中学生の17人に1人、高校生の24人に1人がヤングケアラーと言われている。本町の実態と支援策について伺う。</p> <p>(1) 町におけるヤングケアラーの把握の現状について</p> <p>(2) ヤングケアラーに対する支援状況について</p> <p>(3) これからの把握調査と支援策の考えについて</p>	町長 教育長 保健福祉課長 教育課長
2. 小規模農業・家族農業への農業支援と農村集落の存続について	<p>本町における農業は、54%が1ha未満、80%が2ha未満の小規模、家族農業である。農業従事者の高齢化、後継者不足や経営の赤字化などにより、離農し、集落戸数が減少している。今後、5年、10年の中には集落の維持も困難になることも予想される。</p> <p>近年、世界的には小規模・家族農業が再評価されてきているが、本町における小規模農業・家族農業の継続に向けた取り組みと支援策を伺う。</p> <p>(1) 小規模・家族農業の現状について</p> <p>(2) 小規模・家族農業が再評価されているが、どのように考えているか</p> <p>(3) 小規模・家族農業の農業継続及び集落存続に向けた営農計画の策定、支援の考えについて</p>	教育長 農政課長

	<p>(4) 今年度産米下落に対する町支援の再検討の考えについて</p> <p>(5) 農村集落に対する「人・農地プラン」の目的と進め方について</p>	
--	--	--



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和3年11月24日 午前11時23分 受付

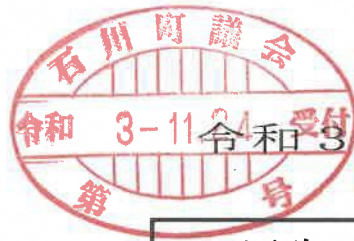
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月24日

質問者 3 番議員 菊池美知男

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 石川町公民館の活動及び地域活動強化について	<p>昭和の大合併により、1町5村が合併し石川町が誕生した。現在は、合併前の地区公民館を地域自治の拠点と位置づけ、自治センターを設置し活動が展開されているところである。</p> <p>さらに、自治協議会も組織されているが、今後の本町における地域活動の機能強化と補完のための施策について伺う。</p> <p>(1) 石川町公民館活動と各自治センターに対する支援について</p> <p>(2) 自治センターの活動について</p> <p>(3) 自治協議会の活動について</p> <p>(4) 自治協議会の必要性について</p>	町長 教育長 企画商工課長 生涯学習課長
2. 新たな歴史民俗資料館の利活用について	<p>石川町立歴史民俗資料館の老朽化に伴い、旧ホテル松多屋を歴史民俗資料館として取得したが、今後の利活用計画について伺う。</p> <p>(1) 石川町立歴史民俗資料館移転整備基本構想に基づく各種標本展示や企画展イベント開催などでの各スペースの具体的な利用計画について</p> <p>(2) 基本構想を具現化するための人的体制や改装費用について</p>	教育長 生涯学習課長
3. まちなか再生行動計画の見直しについて	<p>まちなか再生行動計画は平成26年12月に策定され現在に至っているが、計画から数年が経過し、内容が現状に合わない部分がある。また、一昨年台風第19号により甚大な被害を被ったことから大規模災害を踏まえた計画への見直しについて伺う。</p> <p>(1) まちなか再生行動計画の見直しについて</p>	町長 企画商工課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番

令和3年11月24日 午前11時48分 受付

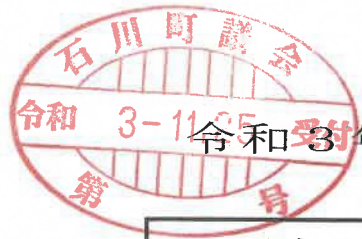
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月24日

質問者 8 番議員 下山田和雄

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 安全で安心な防災対策について	<p>東日本大震災や令和元年の台風第19号による洪水など、本町にも甚大な被害をもたらした。近年、地球温暖化の影響などから、これまで経験したことがないような豪雨、豪雪、暴風被害が各地で発生している。</p> <p>ついては、これまで災害等で答弁した内容について、その後の経過や取り組みの成果等について伺う。</p> <p>(1) 新たな防災マップの周知について (2) 地域の実態に即した避難訓練について (3) 河川の堆砂除去について (4) 渡里沢川の河川改修について</p>	町長 総務課長 都市建設課長
2. 県立石川高校の存続に向けた取り組みについて	<p>県は間もなく県立高等学校改革後期実施計画(2024年度～2028年度)の策定に入ると思われ、来年度の入学者数が重要になる。間違いなく存続の正念場になると思うが、町の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 県立石川高校存続に向けた現在の取り組みについて (2) 県立石川高校の魅力を上げる取り組みへの支援について</p>	町長 総務課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和3年11月25日 午前 8 時 45分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月25日

質問者 11 番議員 関根 信次

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 新型コロナウイルス感染症対策について	福島県内においては、蔓延防止策等の感染症対策により感染状況の参考指標に大きな改善がみられている。しかし、まだ予断を許さない状況が続くものと考えられるが、今後の町の対策について伺う。 (1) 新型コロナウイルス感染症対策に対する取り組みについて (2) 新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている町内経済の再生に向けた取り組みについて	町長 企画商工課長 保健福祉課長
2. 農業振興について	農業は本町にとって重要な基幹産業であり、次の世代につなぐ大切な産業であるが、コロナ感染症による米価の下落に伴い、大きな影響を受けている。ついては、農業を振興するための施策について伺う。 (1) 農業再生に向けた町の施策について (2) 小規模農家に対する支援策について	町長 農政課長
3. 旧母畑小学校跡地の進入路整備について	地域住民の拠り所として、母畑自治センターは必要不可欠な場所であり早期移転が待たれているところであるが、自治センターの整備に先立ち進入路に整備について考えているとの話があった。ついては、進入路整備に対する状況について伺う。 (1) これまでの経過と現在の進捗状況について (2) 早期完成に向けた今後の進め方について	町長 企画商工課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番

令和3年11月25日 午前 9 時 / 8 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告を
します。

令和3年11月25日

質問者 4 番議員 根本 重泰

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 令和4年度重点施策について	<p>昨年、今年とコロナ禍により制限された生活の中で様々な試行錯誤の努力がなされている。幸い、今は沈静化を見せ、不安は拭い切れないているが、令和4年度予算編成が固まる時期となり、明確な指針の基、目前のコロナ対策と町の将来に関わる計画的な施策が盛りこまれる事と考える。よって、次の点について伺う。</p> <p>(1) 令和3年度、現時点の石川町の現状と課題について</p> <p>(2) 町政運営の基本方針について</p> <p>(3) 令和4年度の重点施策について</p>	町長 総務課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番

令和3年11月25日 午前10時44分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年 8月26日

質問者 6 番議員 小木 芳郎

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 活力ある産業を形成する農業施策について	<p>コロナ禍において、農業を取り巻く環境は以前よりも大きく変化し、農産物の価格低下や米価の安値問題など課題が多い。また、今年発生した遅霜や一部地域に降った雹による被害も深刻であり、町特産のリンゴの出荷にも大きな影響を及ぼしている。そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 農家が希望を持てる施策について(2) 担い手不足の現状の中、GAP（ギャップ）に対する進め方について(3) 遅霜に対する町の見解と支援策について	町長 農政課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和3年11月25日 午前11時12分 受付

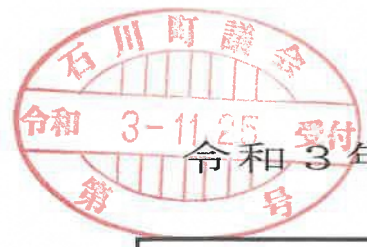
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月25日

質問者 10 番議員 瀬谷 京子

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 地域医療の充実整備について	病院誘致断念後も町民の救急対応や入院体制整備を望む声が多い。過去に示された町の施策案の進捗状況を伺う。 (1) 町内に不足する診療科開設の要望について (2) 在宅医療の充実やICTを活用した診療について関係機関との検討は行ったか (3) ドクターヘリ専用ヘリポートの設置について (4) 平成30年度に創設した「石川町地域医療提供体制整備事業費補助金」の現状と実績について (5) 今後町で考える医療体制充実整備の課題と対策について	町長 総務課長 保健福祉課長
2. 石川町歴史民俗資料館移転計画について	計画の進捗状況を伺う。 (1) 資料館整備検討委員会での現在の検討状況と課題について (2) アスベストの対策について (3) 人材（特に学芸員、館長、専門家など）の配置の考え方について (4) 事業費の見込みについて	教育長 生涯学習課長



令和3年第8回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 9 番

令和3年11月25日 午前 11 時 37 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和3年11月25日

質問者 5 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 30年先を見据えた ランドデザインの 策定について	石川町は、急激な人口減少と少子高齢化、コロナ禍、台風水害によるまちなかの衰退、農地の荒廃、集落の消滅の危機など深刻な局面にある。いまこそ、若者と共に30年先の未来を描くことで将来に希望を持つことが重要であると考え。ついで、次の項目について伺う。 (1) 専門家を招聘し10代、20代による「30年後の石川町の未来を描く組織」の設立について (2) 土地利用計画及び都市計画マスタープランの見直しについて	町長 総務課長 企画商工課長 都市建設課長
2. 石川町の救急医療体制の充実について	昨年、2月の「病院に関する検討委員会」報告を町長は真摯に受け止め、町の地域診療の充実に努めるとコメントしているが、救急医療体制の充実について伺う。 (1) 救急車増設要請について (2) 町内で指定されている7か所のドクターヘリポートの整備について	町長 総務課長
3. 石川町の誇りを磨き、町民から愛される歴史民俗資料館整備について	歴史民俗資料館が、町民の知恵袋と愛され、また、鉱物や自由民権分野など全国に誇れるものは深く探求し、学生や研究者に信頼される資料館になってほしい。との思いから伺う。 (1) 鉱物専門の学芸員の配置と博物館相当施設の位置づけについて (2) 全国に誇る自由民権運動を「福島自由民権館」、鉱物・岩石の分野を「鉱物館」と2枚看板でアピールすることについて (3) 資料館友の会の結成やカフェ、町民創作活動展示室など町民に親しまれる取り組みについて	教育長 生涯学習課長